

Technical Information	
文書番号	SYMC-SMG-111227-1
タイトル	Symantec Messaging Gateway Version 9.5.2-3 リリースノート
対象機器	Symantec Messaging Gateway 8300 Series
ソフトウェアバージョン	9.5.2-3
プラットフォーム	-
参照	-
問合せ先	日商エレクトロニクス株式会社 ソリューションパートナー事業本部 技術統括部 E-mail: npc@nissho-ele.co.jp

本書について

Symantec Messaging Gateway Version 9.5.2-3 に関する情報が含まれています。

Symantec Brightmail Gateway 8300 シリーズ(以下 SBG)は Version9.5 より Symantec Messaging Gateway 8300 シリーズ(以下 SMG)に製品名称が変更になりました。

本リリースについて

SMG Version 9.5.2-3 は、Version 9.5.0-23 のパッチアップデートとなります。

リソース

詳細な情報は以下より入手可能です。

<メーカーマニュアル/メーカーリリースノート(日本語)>

<http://www.symantec.com/business/support/index?page=content&id=DOC4667&key=53991>

<メーカーナレッジベース(日本語)>

http://www.symantec.com/business/support/index?page=home&locale=ja_jp

新機能と強化点

Version 9.5 の主な新機能と強化点 (Version 9.0 と比較) は以下となります。

- ・ 迷惑メールカテゴリの処理
 - 従来のスパム対策ポリシーとスパムの疑いポリシーに加え、マーケティングメールポリシーとニュースレターポリシーと疑わしい URL ポリシーが追加されました。
- ・ メッセージ監査ログの拡張
 - コンテンツフィルタリングのポリシーにマッチした電子メールの詳細情報として、メッセージ監査ログの判定フィールドに「メッセージ部」と「一致するテキスト」の2項目が追加されました。これによりコンテンツフィルタリングのポリシーにヒットした部位を確認することが可能となります。
 - メッセージ監査ログの配信フィールドに「TLS で配信」の項目が追加されました。これによりメール配信の際に TLS 暗号化された状態であるかの確認が可能となります。
- ・ テキストベースの添付ファイルをスキャン
 - スパム対策として下記拡張子の添付ファイルをスキャンするオプションが追加されました。
.doc、.htm、.html、.rtf、.txt、.wps、.xml
- ・ バージョンアップのプロセス拡張
 - 管理画面からのバージョンアップ操作において、ダウンロードのみとインストールの2つに分かれるようになりました。
- ・ DNS 検証
 - 接続元 IP アドレス、HELO コマンドや EHLO コマンドで提供されるドメインや MAIL FROM コマンドで提供されるドメインに対する名前解決の結果に基づきメッセージを拒否できるようになりました。

- ・ 受信者検証でのサブアドレスのサポート
 - 受信者検証にてサブアドレスが対応されるようになりました。サブアドレスとは別名アドレスのことでメールアドレスのローカル部分にプラスまたはマイナス符号とその後ろにテキストが追加されるものとなります。
例: hoge@hoge.com (実際のメールアドレス)
hoge-test@hoge.com (サブアドレス、マイナス符号)
hoge+test@hoge.com (サブアドレス、プラス符号)

変更された内容

Version 9.5 で変更された内容 (Version 9.0 と比較) は以下となります。

- ・ バックアップファイルのリストアにより従来はバックアップファイルのネットワーク設定が反映されましたが、Ver9.5よりブートストラップから設定したネットワーク設定(ホスト名、実IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、スタティックルート)と管理画面から設定した仮想IPアドレスが保持される動作に変わりました。
- ・ 配信失敗後にキューに保持されたメッセージの最大再試行間隔は従来 12 時間固定でしたが、Ver9.5より設定可能になりました。

- ・ 管理画面からのバージョンアップ時の進捗状況が表示されるようになりました。



上記参考画像

- Version 9.5.2-3 の追加及び修正された内容は以下となります。
- ・ CA 証明書(Verisign 署名証明書と中間 CA 証明書)が更新されました。
- ・ PowerPoint ファイル(ppt/pptx ファイル)がスキャン不能として分類される問題が解決しました。
- ・ FIPS 140-2 レベル 1 規格に準拠した暗号化モジュールに対応しました。

- Version 9.5.1-6 の追加及び修正された内容は以下となります。
 - ・ オンラインヘルプが日本語に対応しました。
 - ・ MTA の受け入れ済みの IP アドレスリストが削除されてしまう問題が解決しました。
 - ・ 一部のマルチパートメッセージに HTML 注釈が追加されない問題が解決しました。
- Version 9.5.0-23 の追加及び修正内容は以下となります。
 - ・ 件名の末尾にエスケープシーケンス”0x1b“が含まれた場合、スパム検疫に格納されずに配信キューに滞留した問題が解決しました。
 - ・ アップグレード完了後、管理画面にログインできなくなる問題が解決しました。
 - ・ Outlook2007 で署名したメッセージがスキャン不能として扱われた問題が解決しました。
 - ・ インバウンドのローカルメール配信にて MX ルックアップを有効にした場合、DNS 参照結果に基づき負荷分散が適切に実行されなかった問題が解決しました。
 - ・ CLI から update コマンドにて、バージョンを指定してアップグレードを行った場合に、指定されたバージョンにアップグレードされず、最新バージョンにアップグレードされる問題が解決されました。

日商ナレッジ

- ・ メッセージ監査ログの検索結果が最大設定値の 1000 件を超えた件数が表示される場合があります。

1 通のメールで複数の宛先が含まれている場合、To 毎に件数が表示されるために、検索結果で表示される件数は最大設定値の 1000 件を超えた件数が表示されます。
- ・ メッセージ監査ログの処理に「メッセージを中止する」と表示される場合があります。

「メッセージを中止する」とは送信元から SMG へメール送信する通信中にセッションが終了した場合に記録されます。

調査方法は、SMG が接続されている SWITCH 側にてパケットを取得後に、送信元と SMG の

どちらがパケットを切断しているかご確認下さい。
SMG が切断している場合には弊社にて調査させていただきます。

既知の問題/注意事項

現在、Version 9.5.2-3 で確認されている問題は以下となります。
ここに記載の内容以外の問題に関しましてはメーカーリリースノートをご覧ください。

-
- ・ 管理 -> 設定 -> LocalHost -> SMTP タブにある[アウトバウンド非ローカルウイルスメール配信]を”MX ルックアップを使う“に設定した場合、配送キューに滞留したアウトバウンドメールが状態 -> SMTP -> メッセージキューの画面にある[新しい経路]に指定したりレー先に転送できません。
-
- ・ ウイルスのアクションがクリーニングで RAR 形式の圧縮ファイルからウイルスを検出した場合、圧縮内のウイルスのみ削除せず、RAR ファイル自体が削除されます。
この動作により RAR ファイル内のウイルスに感染してない正常なファイルも削除されます。
-
- ・ Internet Explorer9 にてディレクトリデータサービスのデータソース設定を作成、編集、削除ができません。Internet Explorer8 もしくは他のサポートしているブラウザ(Internet Explorer7、Firefox3.x)を使用することをお勧めします。
-
- ・ インスタントメッセージ機能はサポート対象外とさせて頂いております。
-
- ・ Vontu Network Prevent 機能はサポート対象外とさせて頂いております。
-
- ・ 複数台構成において ScannerOnly の機能を使用して 1 台の ControlCenter で集中管理する構成を弊社が構築していない場合、保守サポートのご提供は致しかねますのでご了承の程お願い申し上げます。
 - 2007 年 10 月 10 日以前に上記構成で弊社と保守契約をご締結のお客様は引き続きサ

ポートさせていただきます。

-
- レピュテーション > 悪い送信者の「シマンテックグローバルの悪い送信者」を有効。
「SMTP 接続を拒否する」、「SMTP 接続を遅延する」を選択した場合、拒否や遅延以外の動作になる場合があります。

- 動作説明経路:

MTA1 MTA2 SMG の経路で SMG へメールを送信した場合

- MTA2 の IP アドレスが「シマンテックグローバルの悪い送信者」と判定された場合は拒否、遅延の動作を行います。
- MTA1 の IP アドレスが「シマンテックグローバルの悪い送信者」と判定された場合はメールを一度受信している為に拒否、遅延の動作が出来ずに次の動作になります。

- 拒否を選択している場合:メールが削除され受信者にメールが届きません。
- 遅延を選択している場合:メールが削除され受信者にメールが届きません。

また、送信者に対して以下のバウンスメールを送信します。

件名: Returned Mail

本文: I'm sorry to have to inform you that your message could not be delivered to one or more recipients. It's attached below.

For further assistance, please send mail to <postmaster>

If you do so, please include this problem report. You can delete your own text from the attached returned message.

This message has been blocked.

-
- ・ コマンドラインを使用してサービスを停止した場合に、管理画面からサービスを開始することが出来ません。

-
- ・ 9.5 以前のバージョンから 9.5.2-3 のバージョンアップファイルのダウンロードを選択すると【サポートされていません】というメッセージが表示されダウンロードが使用できません。

-
- ・ 9.5.2-3 のダウンロードは従来のバージョンに比べて、ダウンロードに時間を要します。これは、ダウンロードパッケージのサイズが大きいためです。

-
- ・ 9.5.2-3 から HTTPS で Control Center へアクセスする際には TLS1.0 が有効である必要があります。TLS1.0 が無効または SSLv2.0 と SSLv3.0 のみ有効の場合にはアクセスする事が出来ません。

-
- ・ FIPS モードはバックアップに含まれません。復元後は手動で変更する必要があります。

-
- ・ OS のアップデート中に mysql エラーログに以下のエラーが表示される事があります。
” No such file or directory”
こちらにエラーは無視頂いて問題御座いません。

-
- ・ Version 9.5.0-23 または 9.5.1-6 から 9.5.2-3 へアップグレード及びダウンロードした際に以下のエラーが表示される事があります。

GUI のバージョンアップ進捗状況箇所にエラー表示
"Database migration failed"

エラー表示後、コントロールセンターにログイン出来ずに
以下のエラーが表示される

The Control Center is unable to connect to the database.
Either the database is not running or the password for brightmail user is incorrect.

この場合には、システム再起動を実行後、再度アップデートを実行下さい。

アップグレードについて

Software Update(ソフトウェアの更新)にて入手/適用可能です。

アップグレード後に自動で OS の再起動が行なわれます。

<アップグレードの注意事項>

- ・ アップグレードに伴い SMG から DestURL: swupdate.brightmail.com、DestPort 番号: 443(TCP)の通信が発生しますので、該当する通信をファイアウォール等で許可するようにして下さい。
- ・ アップグレード前にバックアップを作成してください。
- ・ アップグレード前にメールの受信をしないようにして各キューを解除 (Flush) することを推奨します。
 - [管理] -> [設定] -> スキャナのホストをクリックする。
 - 「着信メッセージを受け入れない」を選択して保存をする。
 - アップグレード後は「通常どおりにメッセージを受け入れて配信する」を選択して、保存をしてください。
- ・ アップグレードを行う際には検疫メールを削除して頂く事を推奨しております。
 - 検疫メールを削除せずにアップグレードを実施した場合、完了までに数時間かかる場合があります、また正常に起動しない場合もございます。
- ・ 更新開始から完了まで、再ブートやシャットダウンを実行しないでください。
- ・ **Version9.5 にアップグレードを行うには Version8.0.3-11 にする必要があります。**
Version8.0.3-11 未満のバージョンから直接 Version9.5 にアップグレードはできませんのでご注意ください。
 - Version8.0.3-11 未満のバージョンをご利用いただいているユーザー様は、アップグレードを行う前に、8.0.3-11 リリースノートを参照ください。

<Version8.0.3-11 リリースノート>

<http://www.nissho-ele.co.jp/product/symantec/key/news/v80311rnote.pdf>

➤ Version 9.5 からのアップグレード方法

1-1.MTA サービスの停止

GUI にて SMG へログイン後に、管理 -> ホスト -> 設定 -> LocalHost を開きます。

「着信メッセージを受け入れない」を選択し、保存をクリックします。

1-2. Mail Queue のフラッシュ

CLI にて下記コマンドを入力し Mail Queue のフラッシュを実施します。

>mta-control all flush

Mail Queue の確認は下記コマンドにて確認ができます。

> monitor mta

d_qmsgs: i_qmsgs: o_qmsgs: の数字が Queue の数になります。

1-3. Version9.5.2-3 へアップグレードの実施

GUI にて SMG へログイン後に管理 -> バージョン -> 更新を開きます。

9.5.2-3 はダウンロードパッケージのサイズが大きい為、インストール実行前にダウンロードをお願いします。更新バージョンにて 9.5.2-3 を選択後に説明の表示をクリックし、OK を押します。

その後、9.5.2-3 を選択し、ダウンロードのみをクリックし、ダウンロードを行います。ダウンロード完了後、インストールボタンを押し、アップグレードを行います。

アップグレードの状況は、GUI 上で確認してください。

ネットワーク環境によりダウンロード完了までに数時間かかりますが途中で止めないようにご注意ください。

OS のダウンロード完了後に自動で機器の再起動が実施されます。
再機動後に全てのサービスが起動するまでに数時間かかる事がありますが、起動途中で電源を OFF にしないようご注意ください。

1-4. 再起動後、CLI より下記のコマンドにてバージョンが 9.5.2-3 であることを確認してください。

```
>show --version
```

1-5.MTA サービスの起動

GUI にて SMG へログイン後に管理 -> ホスト -> 設定 -> LocalHost を開きます。

「通常どおりにメッセージを受け入れて配信する」を選択し、保存をクリックします。

➤ Version 9.0 からのアップグレード方法

2-1.MTA サービスの停止

GUI にて SMG へログイン後に、管理 -> ホスト -> 設定 -> LocalHost を開きます。
「着信メッセージを受け入れない」を選択し、保存をクリックします。

2-2. Mail Queue のフラッシュ

CLI にて下記コマンドを入力し Mail Queue のフラッシュを実施します。

```
>mta-control all flush
```

Mail Queue の確認は下記コマンドにて確認ができます。

```
>monitor mta
```

d_qmsgs: i_qmsgs: o_qmsgs: の数字が Queue の数になります。

2-3. Version9.5.2-3 へアップグレードの実施

CLI でバージョンを指定してアップグレードをした場合、指定されたバージョンにアップグレードされず、最新バージョンまでアップグレードしてしまう不具合が確認されています。バージョンを指定する場合には、管理画面より実施します。

GUI にて SMG へログイン後に管理 -> バージョン -> 更新を開きます。

更新バージョンにて 9.5.2-3 を選択後に更新ボタンを押し、アップグレードを行います。

ネットワーク環境によりダウンロード完了までに数時間かかりますが途中で止めないようにご注意ください。ファイルを事前にダウンロードする事は出来ません。

OS のダウンロード完了後に自動で機器の再起動が実施されます。

再機動後に全てのサービスが起動するまでに数時間かかる事がありますが、起動途中で電源を OFF にしないようにご注意ください。

2-4. 再起動後、CLI より下記のコマンドにてバージョンが 9.5.2-3 であることを確認してください。

```
>show --version
```

2-5 MTA サービスの起動

GUI にて SMG へログイン後に管理 -> ホスト -> 設定 -> LocalHost を開きます。

「通常どおりにメッセージを受け入れて配信する」を選択し、保存をクリックします。

➤ Version5/Version7/Version8 からのアップグレード方法

3-1. MTA サービスの停止

GUI にて SMG ヘログイン後に設定 (Version7, Version8 では管理) -> ホスト -> 設定 -> LocalHost を開きます。「着信メッセージを受け入れない」を選択し、保存をクリックします。

3-2. Mail Queue のフラッシュ

CLI にて下記コマンドを入力し Mail Queue のフラッシュを実施します。

```
>mta-control all flush
```

Mail Queue の確認は下記コマンドにて確認ができます。

```
>mta-stats
```

delivery_queued_msgs: inbound_queued_msgs: outbound_queued_msgs: の数字が Queue の数になります。

3-3. Control Center サービスの停止

CLI にて下記コマンドを入力し Control Center サービスを停止させます。

本操作実施後は GUI にてログインができなくなります。

```
> service controlcenter stop
```

3-4. Version の確認

CLI にて下記コマンドを入力し現在の Version を確認します。

現在の Version が 8.0.3-11 の場合は 3-8 へ、それ以外の場合は 3-5 に進みます。

```
>version
```

3-5. Version 8.0.3-11 へアップグレードの実施

CLI の「install」コマンドにてアップグレードを行います。

```
> install 8.0.3-11
```

ネットワーク環境によりダウンロード完了までに数時間かかりますが途中で止めないようにご注意ください。

ダウンロード中に下記のエラーが表示された場合は再度 install コマンドにてアップグレードを実施してください。

```
E: Unable to fetch some archives, maybe run apt-get update or try with --fix-missing?
```

```
Fetches 152MB in 59m50s (42.3kB/s)
```

```
Err No such file or directory
```

OS のダウンロード完了後に自動で機器の再起動が実施されます。

再起動後に全てのサービスが起動するまでに数時間かかる事がありますが、起動途中で電源を OFF にしないようにご注意ください。

3-6. 再起動後、CLI より下記のコマンドにてバージョンが 8.0.3-11 であることを確認してください。

```
>version
```

3-7. Control Center サービスの停止

CLI にて下記コマンドを入力し Control Center サービスを停止させます。

本操作実施後は GUI にてログインができなくなります。

```
> service controlcenter stop
```

3-8. Version 9.5.2-3 へアップグレードの実施

CLI の「install」コマンドにてアップグレードを行います。

```
> install 9.5.2-3
```

ネットワーク環境によりダウンロード完了までに数時間かかりますが途中で止めないようにご注意ください。

ダウンロード中に下記のエラーが表示された場合は再度 install コマンドにてアップグレードを実施してください。

```
E: Unable to fetch some archives, maybe run apt-get update or try with --fix-missing?  
Fetched 152MB in 59m50s (42.3kB/s)  
Err No such file or directory
```

OS のダウンロード完了後に自動で機器の再起動が実施されます。
再機動後に全てのサービスが起動するまでに数時間かかる事がありますが、起動途中で電源を OFF にしないようご注意ください。

3-9. 再起動後、CLI より下記のコマンドにてバージョンが 9.5.2-3 であることを確認してください。

```
>show --version
```

3-10. MTA サービスの起動

GUI にて SMG ヘログイン後に管理 -> ホスト -> 設定 -> LocalHost を開きます。
「通常どおりにメッセージを受け入れて配信する」を選択し、保存をクリックします。

ダウングレードについて

CD リストア以外に方法は、ございません。

<参考:メーカーナレッジベース>

http://www.symantec.com/business/support/index?page=content&id=TECH83295&locale=en_US

改訂履歴

2011/12/27 初版

以上